

2020 年 4 月 23 日

アムンディ・リそなインド・ファンド（愛称：マハラジャ）
「R&I ファンド大賞 2020」受賞のお知らせ

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社（東京都千代田区 代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、本日、アムンディ・リそなインド・ファンド（愛称：マハラジャ）が株式会社格付投資情報センター（R&I）によって選定された「R&I ファンド大賞 2020」の投資信託部門におけるインド株式部門にて優秀ファンド賞を受賞したことをお知らせいたします。

当ファンドは、主としてインドの株式^{※1}へ投資を行うファンド、「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」（ルクセンブルク籍・米ドル建）に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行っています。この主要投資対象ファンドの運用にあたっては、アムンディ・ホンコン・リミテッドの投資助言を受けます。アムンディ・ホンコン・リミテッドは、インドの運用会社、SBI ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドからのタイムリーな投資情報を活用しています。

SBI ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッド（SBIFM）は、200 年以上の歴史を持つインド最大の銀行^{※2}であるインドステート銀行（State Bank of India）によって 1987 年に設立された SBI ミューチュアルファンド（SBIMF）の資産運用会社で、インドステート銀行とアムンディ・アセットマネジメントとの合併会社として 2004 年に設立されました。経験豊富で信頼される運用チームと綿密かつ広範囲をカバーする専門性の高いリサーチ体制を誇るインド最大の資産運用会社^{※3}です。

アムンディ・ジャパン、代表取締役社長 ローラン・ベルティオは次のように述べています。

「この受賞は、15 年以上も前に、日本の個人投資家向けにローンチされた当ファンド、マハラジャの実績が評価されたものであり、大変光栄に思います。日本において、アムンディ・グループのインドの合併会社の専門知識をご提供できることを誇りに思います。」

※1 ADR（米国預託証券）および GDR（グローバル預託証券）を含みます。ADR、GDR を含む DR（預託証券）とは、ある国の企業の株式を当該国以外の市場で取引することを可能とするため、取引される市場の現地の法律にしたがい発行される代替証券のことで、株式と同様に取引所等で取引されます。

※2 出所：S&P グローバルマーケットインテリジェンスによる世界の銀行トップ 100（2020 年 3 月末の総資産(US\$建)）に基づく。

※3 出所：インド投資信託協会（AMFI）によるランキング（2020 年 3 月末日の運用資産額）に基づく。

SBI ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッド、CIO ナブニート・ムノトは次のように述べています。

最近の市場の混乱にもかかわらず、インドの長期投資への影響は限定的であり、インドもサプライチェーン再編による市場の発展・拡大の恩恵を受けることが期待できます。株式市場の下落を受け、企業価値評価は歴史的に魅力的な水準にあると考えております。インド準備銀行（中央銀行）による大規模な中長期における流動性の供給や政府による政策対応は経済成長を下支えすると期待されています。当ファンドは引き続き、超過収益を創出する最良の手段であるとするボトムアップによる銘柄選択に焦点を当て、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行ってまいります。

アムンディ・ジャパンはこの受賞を励みとし、これからも皆さまの資産形成のサポートをしてまいります。

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

投資リスクについて

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として外国株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、インド株式への投資に関するリスク（カントリーリスク）、為替変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還や収益分配金に関する留意点等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

手数料・費用等

ファンドの費用

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。	
	料率上限（本書作成日現在）	役務の内容
	3.3%(税抜3.0%)	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

＜投資者が信託財産で間接的に負担する費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	信託報酬の総額は、信託財産の純資産総額に対し 年率1.32%(税抜1.20%)以内 ^{*1} を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。												
		※1 2019年12月末日現在：年率1.13% (税抜)												
		(信託報酬の配分)												
		<table><tr><th>支払先</th><th>料率(年率)</th><th>役務の内容</th></tr><tr><td>委託会社</td><td>0.45%(税抜)以内^{*2}</td><td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価</td></tr><tr><td>販売会社</td><td>0.70% (税抜)</td><td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td></tr><tr><td>受託会社</td><td>0.05% (税抜)</td><td>ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td></tr></table>	支払先	料率(年率)	役務の内容	委託会社	0.45%(税抜)以内 ^{*2}	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
		支払先	料率(年率)	役務の内容										
委託会社	0.45%(税抜)以内 ^{*2}	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価												
販売会社	0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価												
受託会社	0.05% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価												
※2 2019年12月末日現在：年率0.38% (税抜)														
		投資顧問会社への報酬は、委託会社の信託報酬から定額(半年毎：100万円)が支払われます。												
		信託報酬は、毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。												
	投資対象とする投資信託証券	<table><tr><th>名称</th><th>料率(年率)</th></tr><tr><td>Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ</td><td>0.85%以内</td></tr><tr><td>CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)</td><td>0.385%(税抜0.35%)以内</td></tr></table>	名称	料率(年率)	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	0.85%以内	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	0.385%(税抜0.35%)以内						
名称	料率(年率)													
Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	0.85%以内													
CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	0.385%(税抜0.35%)以内													
	実質的な負担の上限	純資産総額に対して 上限年率2.17%(税込) [*] ※ファンドの信託約款に定める信託報酬上限年率1.32%(税込)に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.85%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。												
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用等を含みます。) ・信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。													

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

販売会社(五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○	

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 200 兆円^{※2}を超える資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

信頼こそ、私たちの資産。アムンディ

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）

2 運用資産額は、2019年12月末日現在。約1兆6,650億ユーロ、1ユーロ＝122.54円で換算

3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2019年6月版、2018年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：pr@jp.amundi.com

直通： 03-3593-5700/9019

当資料は、アムンディ・リソナインド・ファンド（愛称：マハラジャ）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しします。必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

R2004046